

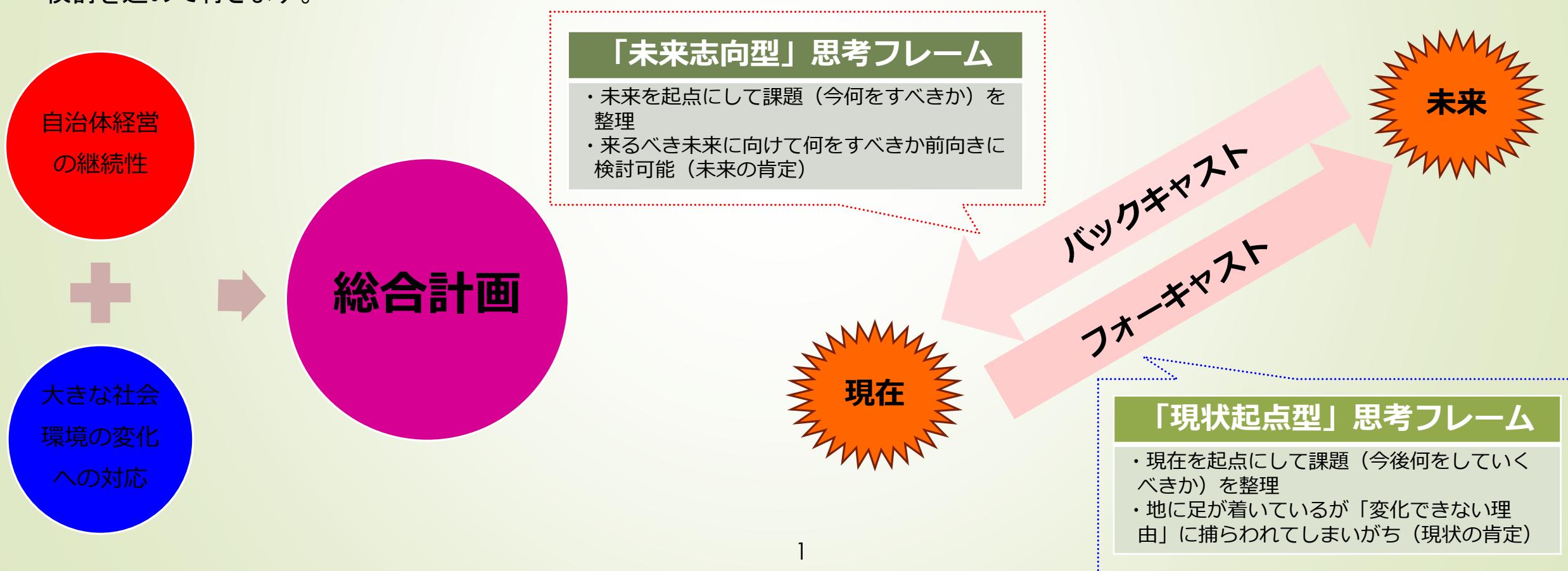
新しい釜石市総合計画策定の基本的な考え方について



釜石市総務企画部総合政策課

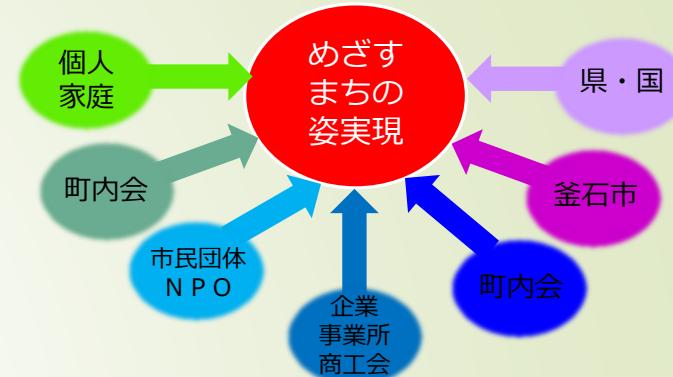
新しい釜石市総合計画策定の基本的な考え方①

- これまで想像もしなかったような大きな社会環境の変化が訪れており、これらの社会環境の変化に対応した自治体経営が求められています。
- 一方で、これまで継続してきた行政サービスをどのように維持し、また見直していくかも自治体経営に求められる大きな課題です。
- 通常の「現状起点型」の分析だけでは網羅型な課題抽出ができないため、「未来志向型」による課題整理を併せて行いながら施策検討を進めて行きます。



新しい釜石市総合計画策定の基本的な考え方②

- ・現状分析は現状と課題のギャップの原因が何かを分析し、解決策（施策・事業）を検討するために実施するものです。
- ・政策や施策の検討には、経験や勘、思い込みではなく、根拠に基づく政策形成の観点が必要になります。
- ・市民の皆さんからご提案いただいた意見は可能な限り計画に反映し、市民が提案したことを見える化していきます。
- ・総合計画で掲げる目標は、行政だけではなく、そこに住む市民、活動する団体や企業等、多様な主体者の共通の目標です。目標を達成するためには、これら多様な主体者がそれぞれの将来に向けて、互いの期待に応え、役割を果たしていく必要があります。計画実行のプロセスにおいて、多様な主体者の意識改革を促し、誰もが自らまちづくりの主体者となる地域経営をめざしていきます。



釜石市議会

かまいし未来づくり委員会

- ・市民ワークショップ
ex.) 「保健福祉」「教育文化」「産業雇用」「生活環境」「市民協働」「地域整備」等をテーマに協議
- ・高校生とのワークショップ
ex.) 釜石コンパス
- ・小中学生とのワークショップ
ex.) かまいし絆会議

